

こんにちは！エンジョイライフです！

もうすぐ11月。今年も残り2ヶ月ですね🍁

皆さん関西大阪万博にはお出かけになられたでしょうか？  
10/13に閉幕し、万博ロスなんていう言葉も出ているようですね！

寒暖差が激しいので、体調にはお気をつけくださいね(>\_<)



11月は七五三の季節ですが、みなさん本来の七五三の意味はご存じですか？

平安時代の儀式に由来する歴史ある行事で、神社やお寺などで七五三詣でをし、感謝や祈願を行います。

現代ではもっぱら子供に晴れ着を着せて記念撮影をするなどの、楽しいイメージのイベントですよ。

しかし、本来の七五三の意味は、子供が無事に育つことを祈り、また節目の年に無事にここまで育ったことを感謝するということなのです。

昔は医療が発達していなかったため、乳幼児の死亡率はとても高いものでした。

特に「7歳までは神のうち」と言われ、7歳ごろまでに亡くなってしまう（神のもとに帰ってしまう）ことも多かったため、子供が無事に育つということは親にとって切実な願いだったのです。

今では子供の死亡率もぐっと低下していますので、七五三はお祝いの意味がメインになっていますが、どの時代においても子供に元気に育ってほしいという親心は共通していますね。

### 3歳【髪置き】

平安時代ごろ～江戸時代ごろには赤ちゃんの時に髪を剃り、3歳ごろまでは丸坊主で育てるという風習がありました。



### 5歳【袴着】

数え年5歳(満年齢4歳)で男児が袴を着用し始める儀式です。



### 7歳【帯解き】

女児が、子供用に紐が付けられた着物えお卒業し、大人と同じ帯を初めて締めるという儀式です。



七五三以外でも秋は食欲の秋！食べ物が美味しいですよ♡

味覚狩り等、たくさん秋を楽しみましょうね～！！

それでは、また来月お願いします(´▽`)/

